

我が社の取組公開します！

「あおもりキャリア教育応援企業表彰」
受賞企業・事業所等の取組事例紹介

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会

平成26年11月19日（水）

青森県総合学校教育センター

【目次】

No.	企業・事業所・団体名（市町村）	ページ
1	有限会社石持グランドファーム（東通村）	1
2	青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ（青森市）	3
3	障害者支援施設 津麦園（青森市）	5
4	あおもり中小企業人材支援センター（青森市）	7
5	有限会社つたや会館・ホテルグランヒルつたや（三沢市）	9
6	社会医療法人 博進会 南部病院（南部町）	11
7	ローソン弘前茂森町店（弘前市）	13
8	イマジン株式会社 弘前パークホテル（弘前市）	15
9	株式会社 ビジネスサービス（青森市）	17
10	株式会社 竜飛精工（五所川原市）	19
11	青森水族館管理株式会社（青森市）	21
12	特定非営利活動法人 つがる夢庭志仙会（つがる市）	23
13	八戸工業大学（八戸市）	25
14	青い森鉄道株式会社（青森市）	27

参考資料：平成26年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」募集要領 29



1 有限会社石持グランドファーム（東通村）

1 我が社の活動方針・理念

農業やスポーツ体験を通して子どもたちに食育や職業等総合的な学習ができるよう工夫しています。受入に際しては実際の農場で本物の体験を通して、子どもたちとの触れあいや、新しい発見があり、子どもたちの豊かな感性や学ぶ心を育ててもらうことを目的としております。

収穫体験では、収穫した作物を土産に持ち帰ることができるようにしております。収穫物を手にしたときの満足した気持ちと、家での母親が喜ぶ姿を思い浮かべることなど、家族愛を育む機会ともなれるよう努力しています。

2 教育支援活動のための体制やしきみ作り

収穫期等の繁忙期でも極力受入をすることとしています。

また、県農業指導員OBを顧問として迎え、受け入れる子どもたちの学年に応じた説明や指導ができるようにしています。

受入に際しては、NPO法人斗南どんどこ健康村とむつパークゴルフ協会の協力を得て実施しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

受入毎に受入実施要領を作成し、学校と情報を共有するようにしています。

計画の作成に際しては、学校の要望内容に沿ったものとし、実施スケジュール・場所、休憩場所やトイレの場所及び安全上の注意事項等について計画しています。

受入に際しては子どもたちとの触れあいを大切に、実際にやって見せて言葉を交わしながら実施しています。

受入終了後は実施結果書を作成し、評価・分析して記録として残しています。

シーズン終了後はその年の結果を総括して、翌年の作付け計画等に反映させています。

② 学校との連携での工夫

学校との事前打合わせは、学校の事情に合わせて実施しています。

受入終了後の振り返りに関する学校との情報交換の場を設けたことはありませんが、多くの学校では子どもたちの礼状（作文）を届けてくれるので、その内容を参考にしています（特に高学年の子どもたちの感想文は大変役立っている）。

当農場ではできない体験（ブルーベリーつみ取り体験等）については、近隣の農家を紹介するなどの相互協力をしています。

また、下北ふるさと活性協議会の構成員として、受入に際してはNPO法人斗南どんどこ健康村との連携を得て実施しています。

③ 実施当日には…

出前サービスは行っていないが、どのような体験学習であれ、その内容におもしろさや楽しさが要求されているので、極力その時期にあった収穫体験を組み入れています。

体験内容について専門的な知識を持つ人（県農業指導員OB、むつパークゴルフ協会指導員）を確保して状況に応じた指導ができるようにしています。

今後は、観察シートの作成や、クイズを交えるなど子どもたちの理解を早めるための工夫を取

り入れることとしたい。また、人数にもよるが収穫した野菜を使ったバーベキュー体験等も実施できます。

4 その他

受入に協力を頂いた NPO 法人斗南どんどこ健康村が、実施した内容をフェイスブック等で紹介して頂いています。

また、下北ふるさと活性協議会の構成員として、パンフレット等で紹介をして頂いております。

郡内多くの小中学校、幼稚園では等農場での取組を承知して頂いており、毎年訪ねてくれる学校があります。

5 活動の様子、資料など

カボチャの受粉体験（東通村立東通小学校）

カボチャの受粉作業はミツバチ等の受粉媒介昆虫が少ないときに、確実に結実させるために実施します。子どもたちは体験を通して雄花と雌花があることなどを学びます。



体験終了後の質問タイム（むつ市立田名部中学校）

収穫体験が終わった後での食堂棟での質問タイムです。子どもたちは、農業で苦労を売ることなど予め用意した質問事項について、農場の人から説明を受けます。



6 最近の活動実績

H26/7/16 東通村立東通小学校

5年生を対象にカボチャの受粉体験、トマトの収穫体験を実施、カボチャの受粉のメカニズムを体験により学習し、トマトは種類や色による味の違いや、収穫の楽しさを学習した。

H26/9/4 むつ市立田名部中学校

1年生を対象に、ジャガイモ掘りとトマトの収穫体験を通して、それぞれの品種や栽培に当たっての苦労や工夫等について、質問の時間を設けて学習した。

H26/9/12 むつ市立奥内小学校

1・2年生を対象に、パークゴルフとトマト・ジャガイモの収穫体験を実施、いずれも初めての体験でスポーツと、野菜収穫の楽しさを学習した。

H26/9/30 柳町ひまわり保育園

2・3・4・5歳児を対象に広い芝生での虫取り等の自然体験、ジャガイモ掘り体験で、人間らしい感性・意欲等を育む学習とした。

2 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

当施設はねぶた祭を県内外へ紹介するとともに、ねぶた祭りの後継者を育成するための施設です。観光客を含めたお客様との接客が多いことから、職場体験を通して子どもたちのコミュニケーション能力を鍛えることができます。

また、案内内容にはねぶた祭りに関することもあり、ねぶた文化を学び理解してもらう機会となることから、当施設の活動目的と合致しているために職場体験受入を実施しています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

職場体験の担当は館内アテンダントの従業員が担当しています。

職場体験では子どもたちを館内アテンダントの補佐業務に付けています。アテンダントは管理・指導する立場となり、日頃自分達の行っている業務を客観視することができるため、アテンダントにとっては貴重な体験であり、当施設としても社員研修の一環として実施しております。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

職場体験では接客の基本となる笑顔、挨拶、しぐさに気をつけるよう指導しています。

担当者（アテンダント）は、職場体験の子どもたちがなれない業務で体調不良にならないよう体調管理に気を付けています。

職場体験終了後は個人的感想、お客様を案内して改善が必要だと感じたことなどを参考意見として聞いています。

また、学校からの依頼については基本的に断らないようにしております。

② 学校との連携での工夫

まずは所定の申込書に希望内容等を記載した上で提出してもらい、可能な限り先生と担当者が現場を見ながら打合せを行うようにしています。

依頼する学校の要望に合わせ適宜対応しております。（人数、日数、時間等を相談のうえ決定）

③ 実施当日には…

当施設では団体のお客様にハネトや太鼓の体験なども行っているため、アテンダントが指導する体験学習のお手伝いをしてもらうこともあります。

また、当施設では接客業務だけでなく裏方体験も貴重な体験と考えているため、ねぶたホールでは触ることができるねぶたを展示しており、ねぶたの紙が破けた場合は、アテンダントが修理するため、その作業のお手伝いをしてもらうこともあります。

接客する上で大切なことは、お客様の気持ちで施設を理解することであるため、必要に応じて職場体験の子どもたちにはお客様と同様のガイド付見学、体験学習なども体験してもらっています。

4 その他

ねぶたの家ワ・ラッセのブログで紹介しています。

ホームページの職場体験コーナーに事例紹介として掲載しています。

ホームページでは、職場体験・出前教室を常時受付できるよう窓口を開設しています。

イベント情報

体験・教室

施設のご案内

貸室

旅行者様

買う・食べる

イベント
カレンダー

小・中学生の職場体験

【職場体験要項】

- 対 象
青森市内の小学生、中学生。
対象外についてはご相談ください。
- 実施期間
体験日時についてはご相談のうえ決定。
- 実地条件
団体行動ができる人。
(団体行動ができないと判断した場合は体験をとりやめる場合があります。)
- 体験内容
①ワ・ラッセの仕事説明
②ワ・ラッセの仕事を体験(アテンダントの補佐)
館内案内、チケットのスタンプ押し、お客様の誘導他

5 活動の様子、資料など

「職場体験中!! 甲田中の男子4人(平成26年9月3日)」

※ワラッセのブログより

青森市立甲田中学校2年の男子生徒6人がきのう(9/3)から2日間の日程で職業体験学習をしています。甲田中学校は、青森市内の事業所の協力を得て、2年生157人が一斉に職場体験を行っており、ワ・ラッセでの体験学習はアテンダントの業務補助が主です。

ワ・ラッセを選んだ理由について、リーダーの生徒は「ねぶたが大好きだから」と話し、ミュージアム・ねぶたホールを一通り見学して青森ねぶたを学んだ後、接客の仕方の実際に体験しています。

ほかの生徒も「囃子の笛をやっています」「太鼓担当でねぶた祭に出ました」「僕は鉦をやりました」と、ねぶた好きの中学生ばかりです。

6人は総合案内で、チケット売り場で、ねぶたホールで、ホール出口で・・・アテンダントの助言を受けながら「働くことを学び、社会性を身につけ、職業観を高めて」います。

職業体験はきょう 16:00 までで「いらっしやいませ」「ありがとうございます」の初々しい声がきょうも館内に響いています。



6 最近の活動実績

H25/7/23~25	青森市立東中学校
H25/9/3	青森市立新城中学校
H25/9/4~5	青森市立甲田中学校
H25/9/5~6	外ヶ浜町立平舘中学校
H25/11/12~13	青森市立西中学校
H26/7/2	青森市立三内中学校
H26/7/8~10	青森市立佃中学校
H26/7/8~10	青森市立東中学校
H26/7/29~31	青森県立北斗高等学校 (インターンシップ)
H26/9/2	青森市立造道中学校
H26/9/3~4	青森市立甲田中学校
H26/9/9	青森市立沖舘中学校

いずれの学校においても、ねぶた祭についての研修・館内施設見学を行い、総合案内や入場券販売のアテンダント補佐の業務についてもらっています。

3 障害者支援施設 津麦園（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

仕事内容や働く上で心掛けていることを伝えることによって、やりがいや福祉の仕事の魅力を感じてもらい今後就職をする際の選択肢に役立てていただくことを目的としています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

国家資格などの専門的な内容が必要な場合は、資格保持者が担当しています。職場紹介や福祉職の紹介、資格紹介など出来るだけ生徒の皆さんの役に立てるように日程調整しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

体験内容を振り返り、生徒の反応や様子などをメモなどでまとめておき、それを参考にし、次の受け入れの計画等に役立てています。

② 学校との連携での工夫

事前の打ち合わせでは、どのような意義で実施するのかを打ち合わせして、学年や人数等も考慮しながら取り組むようにしています。

職員が参加する外部の各種研修会の成果を職員間で共有し、受入プログラム作成に役立てています。

また、県社会福祉協議会と連携・協力し高校生対象の福祉施設体験講習会も実施しています。

③ 実施当日には…

生徒が分かりやすい・イメージしやすいように例をあげながら（学校生活に例えながら）伝えるようにしています。

4 その他

今後の福祉職への人材確保や少しでも興味を持って頂けるように出前授業や職場体験受け入れに取り組むよう職員に周知しています。

近隣の学校からは毎年、継続して依頼が来るようになっており、活動は学校の先生方に認知されてきていると感じています。

また、中学校の文化祭などで、生徒が職場体験の様子を壁新聞にまとめて発表していると聞いているため、地域住民にも活動が知られてきていると実感しています。

5 最近の活動実績

青森北高校

- H26.5.23 社会福祉士希望の高校生を対象に施設見学・仕事内容の説明・国家資格・働く上で心掛けていることを伝え、利用者との交流を図りました。
- H26.5.27 理学療法士希望の高校生を対象に施設見学・仕事内容の説明・国家資格・仕事をする上で心掛けていることを伝え、利用者との交流を図りました。
- H26.7.29 2年生対象の職場訪問で施設見学・仕事内容の説明・仕事をする上で心掛けていることを伝え、利用者との交流を図りました。
- H26.10.7 1年生対象の出前講座で仕事内容の説明・仕事をする上で心掛けていることを伝えました。

浪岡高校

- H26.6.20 1・2年生対象の職業講話で仕事内容の説明及び仕事をする上で心掛けていることを

進路講演会「夢相伝講座」を開催しました。6月20日（金）

本校では、生徒の進路意識の高揚と自己の進路目標に向かって主体的に考える態度を育成するため、毎年、進路講演会を開催していますが、今年度は、青森県地域活力振興課が主催する社会人講話「先輩から後輩への夢相伝講座」と連携し5名の方を講師にお招きしました。

第Ⅰ部の全体講演では、株式会社サンライン代表取締役の佐藤克豊さんが、「働くって、どういうこと？」と題して講演し、会社を立ち上げる際の苦労や、母親から言われた言葉をもとに、楽な道と厳しい道があれば、厳しい方を選んで仕事を行ってきたこと、その仕事について、一つでも良いところを見つけると毎日が少しずつ楽しくなることなど、ご自分の経験を踏まえて話され、常に前向きな考え方が、仕事をする中で大切であることを生徒たちに語りかけていました。

第Ⅱ部では、1・2年生が、看護、流通・販売、保育、福祉の4分野から2つを選択して、その分野で活躍されている講師の方々から、仕事の内容について講話を受けるとともに、仕事についたきっかけや仕事の楽しさ・つらさなどについて懇談を行いました。また、3年生は、進路希望別に進学と就職に別れ、本校卒業生と懇談を行いました。



いずれの場面でも、生徒たちは、社会人として活躍する先輩の話に熱心に耳を傾けるとともに、仕事にやりがいを持って生きることの大切さを肌で感じる事ができました。

今回の講演会で学んだ事を、3年生は間近にせまった進路決定に、1・2年生は、これからの進路選択に生かして欲しいと願っています。

【夢相伝講座講師】
 神山奈々美さん（青森県立中央病院看護師）
 會津美子さん（ドコモショップ青森西店店長）
 木川基子さん（アリス保育園主任保育士）
 舟崎浩平さん（障害者支援施設津波支団）

「浪高だより」
 第5号
 浪岡高校HP
 より転載



青森東高校

- H26.7.25 職場訪問で施設見学・仕事内容の説明・仕事をする上で心掛けていることを伝え、車椅子体験を行いました。

社会福祉に関心がある高校生

- H26.7.28 福祉施設体験講習会にて施設見学・仕事内容の説明・仕事をする上で心掛けていることを伝えました。

青森市立油川中学校

- H26.9.2 1年生対象の職場体験実習で施設見学・仕事内容の説明仕事をする上で心掛けていることを伝え、利用者との交流を図りました。

青森市立沖館中学校

- H26.9.9~10 2年生を対象の職場体験で施設見学・仕事内容の説明・仕事をする上で心掛けていることを伝え、利用者との交流を図りました。

4 あおもり中小企業人材支援センター（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

学生と企業の双方を支援することにより、一人でも多く一社でも多く青森で望ましい働き方、継続雇用を実現するために活動しています。

学生には、企業に必要とされる人材になるためのノウハウを様々なプログラムを通して伝えています。

企業には、従業員の早期退職をなくすために、採用・育成・定着の一連の流れでサポートを続けています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

キャリアカウンセラーを配置して対応しています。

また、起業分野やキャリア支援等に関するプロやネットワークがあるので、それらをうまく活用し個々の学校のニーズに合ったプログラムをつくることができます。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

学校のニーズや学生が聞きたいこと、知りたいことを聞き取り、プログラムを企画しています。プログラム終了後、良かった点・改善点を双方で確認し、次のプログラムへとつなげています。

② 学校との連携での工夫

学校側から昨年度の実施資料を提供してもらうとともに、学校のニーズ、生徒の状況などを踏まえてプログラムを作成しています。

また、学生の視野を広げるため、普段の学生生活であまり関心のない職業人や企業を出前授業の講師として提案するようにしています。また、就職の選択の際に生徒が持つイメージだけで判断をされてしまうような職種・業界等とのネットワークも幅広く持っているため、就職後のミスマッチ防止のためにも、その様な業種の方を講師として紹介する等、出前授業のプログラムを作成する際に考慮しています。

出前講座や座談会についてはジョブカフェや青森市と共催で取り組み、当センターは当日のファシリテーター、企業との交渉の役割を担うことが多いです。

③ 実施当日には…

あらかじめ、生徒に質問用紙を渡して企業・仕事に対するイメージを書かせる等、課題を提示したり、事前に出前授業や座談会に参加する企業の情報を配付することで、プログラムへの意識付けや企業への関心を高めるようにしています。

4 その他

当センターのホームページで学生向け企業向けのプログラムを随時紹介しています。

東奥日報をはじめ、県内のメディアに取り上げていただいています。また、生徒からのアンケートには「企業の人と関わることでイメージしていたものと違ったり、社会人のイメージがわかりました」等といった声が寄せられています。

学校への宣伝活動も行っているため、少しずつ当団体と活動内容への認知度が高まってきていると感じています。

5 最近の活動実績、様子など



H26/10/7 青森県立青森北高等学校

1年生を対象に県内で働く職業人を招いての出前講座を実施し、青森で働くことや働く上で大切なこと等をテーマとした。



H26/10/7 青森県立十和田工業高等学校

建築家 1年生と県内の若手技術者との意見交換会において、建設業界で働くために必要な能力や仕事のやりがい等について座談会を実施した

5 有限会社つたや会館・ホテルグランヒルつたや（三沢市）

1 我が社の活動方針・理念

将来社会に出て就職した際に業種関係なく、社会人としての考え方や今準備すべきことを伝えて仕事の素晴らしさと大変さを知ってもらうために活動しています。

また、地元学生の為当社に憧れを持って就職できる生徒が一人でも生まれることを願って活動を続けています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

サービス業という職種の為スケジュールの調整が難しいですが、シフトの変更や社内の協力をもって、出前授業などの時間を設けて対応しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

インターシップの際には、担当者として、所属長と社会人として経験の浅いスタッフを組合せ、生徒達に分かりやすい案内や作業が可能になるように工夫するとともに、社員の研修にもなるよう工夫しています。

出前事業の際には、具体的な仕事内容の話ではイメージが湧きづらい為、エピソードや例えば話を用いて伝えるようにしています。

② 学校との連携での工夫

出前事業の際に事前の打ち合わせは勿論だが、講話内容を担当教諭に資料でお渡しています。必要があれば生徒への配布もお願いすることもあります。

上北地区実行委員会から出前授業や職場体験の依頼があった場合、担当の方やコーディネーターから学校側の要望を詳しく聞いたり、学校側へ連絡を代わりに行ってもらう等、連携して取り組んでいます。

③ 実施当日には…

出前授業の際に、対象年齢が興味を持ちそうな話題やクイズから導入し引き付けられるように工夫しています。

また、時間がある際には当社のDVD等を見てもらい映像でイメージが湧くようにしています。

4 その他

社内スタッフへの共有としてお礼状を公開しています。

最近は当社のFacebookでも記事としてアップしています。

昨年度「あおもり絆カンパニー」（編集：青森県企画政策部地域活力振興課）の取材を受け当社が取り上げられました。

“人を大切にする会社のStory”第3号【平成26年3月発行】

学校側の担当教諭や校長先生、教頭先生などからお褒めのお声や外からの刺激に生徒も聞き入っていたなどのお声を頂戴しています。コーディネーターの人からも分かりやすく為になるお話だったと言われるので、お手伝いをさせていただいてこちらが元気や日々の仕事への活力になっています。また、出前事業を担当している私自身の資料作りやお話をするトレーニングに繋がっています。

5 活動の様子、資料など



←中学校での出前授業の様子

※出前授業で使用しているパワーポイントの資料（抜粋）

4、講話内容

②中学生として取り組んだり身につけたりしておくべきこと

何より目的をしっかりと
(仕事 = 勉強・部活)

三人のレンガ積み

意外とこんなことが
家の手伝い・・・掃除・洗濯・料理

5、最後に

今日ここに居る人全員が同じ話を聞いた

↓

最初に話したように特効薬はありません

↓

しかし努力していけば必ず徐々に効果は出る

↓

一ヶ月後、一年後、一〇年後大きな差となる

6 最近の活動実績

H26/5/27 青森県立六ヶ所高等学校

1年生を対象とした将来の夢に向かう心構えを話しました。

H26/9/24 おいらせ町立下田中学校

3年生を対象とした職業人としての心構えを話しました。

H26/10/9 東北町立東北東中学校

全学年を対象に企業が求める人材について話をしました。

H26/10/15 青森県立三沢商業高等学校

館内見学と高校生で身につけておくことを話しました。

H26/7/30.31 青森県立三沢高等学校

H26/9/3.4.5 おいらせ町立木ノ下中学校

H26/9/8.9.10 三沢市立第二中学校

} インターシップ（会場見学と会場セットの作業）

6 社会医療法人 博進会 南部病院

1 我が社の活動方針・理念

40年にわたり南部町で医療を行なっていますが、今後継続していくためには、この土地で生まれ育った子供たちの力が必要です。医療は進歩しても、医療は人が行なうものであります。

当院では、「地域住民との心のふれあいを大切に」を合言葉に、今後も地域医療を担っていきたいと考えています。そのためにも、地域の子供たちが医療従事者を志し、地元の医療の担い手になるよう啓発と支援を続けていくものであります。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

当院では30年以上前から「奨学金制度」を導入し、支援を行なっているが、これまでに延べ63名の看護師・理学療法士・作業療法士が誕生しています。この制度を利用し資格取得した職員が、学校への説明会、出前授業に出向いたり、職場体験の際の子どもたちのサポートを行なっております。（この制度を利用し、地元で働く職員の増加にも繋がっています。）

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

職場体験の希望者は、小学生から高校生まで幅広い。そのため、見学・体験者の年齢に合わせた興味のある内容になるよう工夫しています。例えば、小中学生では、お菓子を使ったお薬調剤体験や、採血の模擬体験など、病院内でなければ出来ない体験を行なっています。また、高校生のように将来の進路がはっきりしている場合は、具体的な現場を体験出来るように配慮しています。

② 学校との連携での工夫

病院見学時に患者さんに迷惑がかからないよう、曜日や時間の設定を行ない、学校側と調整をしています。また、生徒の体験発表会に参加するなど、連携を図っています。

ガイダンスなど学校側で既にスケジュールが決まっている場合、出前授業の可能な職員が対応しています。

③ 実施当日には…

病院の職種は当院でも20余りあるが、生徒達はほとんど医師、看護師、薬剤師等を考えて参加しています。そこで事前にDVDを作成し、職種の紹介と仕事内容を説明後、院内見学をしてもらい、希望する仕事の現場を中心に、各部署をまわり、医療職へより一層の理解と興味が向くよう工夫しています。

4 その他

当院の広報誌「Swan」およびホームページにて、子ども職場参観日や職場体験受入れの様子を掲載しています（次ページ参照）。

また、病院には様々な職種があります。そこで、子ども達が将来、どんな仕事をしたいのか、参考になればと、シリーズで下記のように紹介しています。

2013年…春号「管理栄養士」、夏号「看護補助者」、秋号「リハビリ」、冬号「検査技師」

2014年…春号「薬剤師」、夏号「放射線技師」、秋号「社会福祉士」

青森県庁ホームページに『あおもり子ども職場参観日実施報告』そのほか、青森県教育委員会会でまとめた「職場参観日事例集」に掲載していただいた（学校、教育委員会等に配布）。

保護者からは、職場参観日というとても貴重な時間を頂き、自分の目で体験できたことで、子供なりに新しい発見がたくさんできたようです。終わったあと「病院で働きたい」との声が上がっていました。

5 活動の様子、資料など



南部病院

子ども職場参観日

あおもり県では、子どもたちが社会的・職業的に自立していけるよう、職員の子ども、その友人を対象とし、親や周囲の大人が働く姿を見せる「こども職場参観日」をすすめております。11月30日に小学生から中学生までの22名が当院を訪れ、職場参観や仕事体験しました。



スケジュール

8:00 ~ 8:30 親子で出勤
8:30 ~ 9:30 オリエンテーション
(病院の働きについて)
9:30 ~ 11:30 職場の見学や体験
11:30 ~ 12:00 昼食、帰宅

小学生1~3年生グループ



- ・多くのお母さんのことがいっぱいわかりましたし、多くのお母さん以外のことがわかってたのしかったです。(小2)
- ・今日は職場参観日で勤務のことをよく知りました。病院でたらい回ししてる人たちは、かんじゃさんに親切で「ありがとう」という気持ちでいい人であるように、いろいろなことをしていると気がつきました。(小3)

保護者の感想

- ・一言で仕事と言っても、実際は内容を理解できないし、話を聞いただけでは、子供に充分伝えきれなかったのですが、職場参観日というとても貴重な時間を頂き、自分の目で見て体験できたことで、子供なりに新しい発見がたくさんできたようです。
- ・今回の行事は、元々娘も薬剤師に興味があると話していたので、とても良い経験になりました。終わった後も「病院で働きたい」と言っていました。参加させて頂き、ありがとうございました。

小学生4~6年生グループ



- ・今日はなかなか体験できないこととして、手の正しい握り方、レントゲン、薬剤師の勉強をして、それぞれの仕事に気をつけたいといけないという事を勉強して、ためになりました。また、機会があったら参加したいと思います。今日はありがとうございました。(小6)

当院の感想

一歩踏み込んで考えてみると、これからは若者を中心に人口減少等々、予想されています。旧南部地区の南郷小、向小では、小学6年生が廃止57名、前年度の新入生が32名で、わずかに6年で25名も減少しております。この地の自然や精神文化を基盤に、農・林業、商工業などの社会構造をしっかり守っていく施策を今から考えておかねば、それこそ職場もなく、数少ない若者の流出も止むことがからず、ほとんど高齢者だけの町になってしまうことでしょう。そうすれば、介護・看護する人もいない、本当に必要とされる病院も無くなり、大変な事態になる事も予想されます。

今後このような「職場参観日」や、学校を通じての「職場体験」等を積極的に実施して、こども達に、「自分たちの町は自分たちで守る」という意識づけにつなげられるよう、私達大人が工夫していかなければならないと考えます。

中学生グループ



- ・今日は、初めてこういう病院で体験しました。薬を飲入れる機械とか、巻いて見たり、体験できたりして、とても新鮮でした。MRIとは聞いたことはあったのですが、どういうものか分かりませんでした。磁石で導くということが、今日分かって勉強になりました。ほかに、自分の手の動きを見るなど、ここでしかできない体験をすることができました。また、このような体験をしてみたいです。(中3)

6 最近の活動実績

青森県立三戸高等学校 (H23/2/23)

青森県立田子高等学校 (H23/3)

3学年対象の進路ガイダンスにおいて、医療の現状・医療従事者の業務や資格取得方法などを説明。

青森県立三戸高等学校 (H24/5 H25/5)

将来医療従事者をを目指す学生を対象に、地域医療の現状・病院の職種・資格取得方法、今できることを説明した。

青森県立名久井農業高等学校 (H25/10/9~11)


看護師を目指していたため、その内容をわかりやすく説明し、現場での看護業務体験をしてもらった。

H25/12/3.4 南部町立南部中学校


職場体験を通して、様々な職種に分かれている医療従事者への理解を深め、将来への夢を抱き、進路に役立てられる内容を説明した。

ご紹介 名久井農業高校の生徒さんが職場体験


10月10~12日の3日誌、名久井農業高校の佐々木愛さんが、当院の職場体験をされました。



理学療法の見学



看護部での体験




消防訓練での放水体験

お礼のお手紙より

短い期間でしたが、とても大変で責任のある仕事だと思いました。それでも、何かをしたときに患者さんに「ありがとう」と言われた時には、自分でも誰かの役に立てるんだと思います。さらに、患者さんに笑顔で接しているナースは素敵で、仕事をしている姿はとてもかっこ良かったです。

当院での体験を、ぜひ今後も活かしていきたいと思います。3日間おつかれさまでした。



7 ローソン弘前茂森町店（弘前市）

1 我が社の活動方針・理念

身近なコンビニエンスストアのしくみ、接客の大切さ、挨拶の大切さ、考える・学ぶをどのようにして活用するのか等、人生の第一歩を学校生活から社会に出て頑張れるように伝えています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

出前授業は必ず代表が担当し、職場体験は代表ともう一人の担当者と対応しています。従業員（社員やアルバイト等）には、職場体験の子どもたちへの指導を通して自分を見つめ直してもらっています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

出前授業ではまずDVDで見てもらい、ペーパー（説明用の資料で）大まかにコンビニの仕事について形を（仕事の全体を）とらえてもらい、話しの中から子どもたちに聞く力をつけてもらうようなプログラムとなるようにしています。

出前授業では実施した内容をDVDに記録し、生徒の反応や意見を踏まえてより良い講話ができるよう改善を図っています。

② 学校との連携での工夫

事前に打ち合わせた上で、内容等を決定しています。

出前授業の場合、10個程度のプログラムを用意し、その中から学校に時間や目的に応じ選んでもらったプログラムを組み合わせて、各学校での講話を行っています。

③ 実施当日には…

子どもたちに一方的に話すだけでなく、問いも多く投げかけるようにし、お互いに興味を引き付けて講話をしています。

中学生を対象にする職場体験ではコンビニの仕事の様子を見てもらい、学んでもらっています。

4 その他

陸奥新報社さん等新聞社にお願いして記事にしてもらうことで情報を公開しています。

青森県教育委員会「地域の力で夢を育む教育支援活動プログラムメニュー集（平成26年3月発行）」に当社の出前授業プログラムが紹介されました。

近隣の学校からの依頼・相談が年々増えてきており、出前授業や職場体験を受入れているとい

う認知度は高まっていると感じています。また、学校の卒業アルバムに掲載される等によって、保護者や学校の関係者にも活動が知られるようになってきたと思われます。

5 活動の様子、資料など



6 最近の活動実績

H25.9.10 ならびに H26.8.26 弘前市立西小学校

6年生対象でコンビニエンスストアについて、挨拶の大切さ、学業で必要なこと、心の味、舌の味などについて講話を行いました。

H26.7.17 平川市立平賀西中学校

今後必要とされる人材について、今やるべき事、心の味・舌の味、接客とコミュニケーションについて講話を行いました。

H25.11.25 黒石養護学校

コンビニエンスストアについて、笑顔と会話、社会に出て～大切なこと、コミュニケーションなど講話を行いました。

その他教員向けの研修会でも講話を行った実績があります。

8 イマジン株式会社 弘前パークホテル（弘前市）

1 我が社の活動方針・理念

昔から日本人は礼節の心を持ち合わせています。

そこで、ネット社会や分業化による「効率化」によって失われつつある「人と関わり合う」楽しさ、おもてなしの心（ジャパンプレミア）の誇りをお伝えしていきたいと考えています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

インターンシップ研修プログラムについては長年インターンシップ受入で培った内容を年々ブラッシュアップをかけてパークホテルスタッフにて行っています。

また、受付とプログラム作成の担当者を置いて対応しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

職業体験の場合、一校一校でスケジュールを作成し、受入現場との連絡を取りながら行っています。

② 学校との連携での工夫

学校との打合せの際、希望する体験業務をヒアリングし、インターンシップのプログラムに極力反映させています。

学校には機会があれば、インターンシップ、出前授業の受け入れをお話しさせていただき、地域貢献の意味を込めて広くアピールしている。

③ 実施当日には…

職場体験では初日に同じホテルスタッフの一員として当グループの施設、会場写真をご覧いただき、仕事のイメージを実際（のイメージ）と近づけていただけようお話しさせていただいています。

4 その他

礼状等はファイリングで閲覧できるようになっている（パークホテルスタッフ内で）。

学校からはおかげさまでご好評を頂いており、職場体験だけでなく、出前授業の依頼もあり、依頼件数は年々増えてきています。

職員にとっては仕事の意義の再確認と地域貢献の一員としてお手伝いさせていただいていることを感じています。

青森県教育委員会「地域の力で夢を育む教育支援活動プログラムメニュー集（平成26年3月

発行)」に当社の出前授業プログラムが紹介されました。

5 活動の様子、資料など



客室清掃関連



料飲部関連



ブライダル関連



調理補助関連

6 最近の活動実績

H26.7月～10月20日にかけて

中学校9校、高校9校、小学校1校からのインターンシップ、職場体験等の受入れ

9 株式会社ビジネスサービス（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

当社の業種分野である IT に関して出前授業を行うことで、IT の便利さを伝えるだけでなくモラル教育やセキュリティ教育に関する啓蒙活動につながり、健全かつ安全な IT 社会にすべく地域に根ざした IT 企業として発信し続けることを目的としています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

社員教育担当者が社内外における教育窓口担当として、学校での出前授業についても窓口となり学校側が希望するカリキュラムに対して、適任人材を選出し講師派遣しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

出前授業を実施する際の IT 情勢などを踏まえて、最新のトレンドなどを取り入れるようにしています。また、カリキュラムは回数を重ねることによりよいものになるよう改善しています。

② 学校との連携での工夫

出前授業の講話のカリキュラムは定まっているものの、学校からの要望についてはすりあわせを行い、できる範囲で要望を取り入れるようにしています。

また、事後に学校よりアンケート結果を頂く事もあり、内容を確認させて頂いた上で、必要に応じて次回へ反映している。

③ 実施当日には…

職業講話では、社会人の基本となる挨拶の重要性や、仕事を進める上で大切なコミュニケーション力について、学校生活で実践できることに関連性を持たせています。

セキュリティ講話では、便利な SNS（ラインやフェイスブックなど）について、事例を交えて身近に起こりうる問題を紹介し、学生が利用する際、危機意識を高めてもらうよう努めています。

4 その他

青森県教育委員会「地域のかで夢を育む教育支援活動プログラムメニュー集（平成 26 年 3 月発行）」に当社の出前授業プログラムが紹介された。

出前授業などの依頼は年々増えてきており、県内での活動の認知は高まっていると考えています。

5 活動の様子、資料など



H24 青森市立浦町中学校



H25 弘前市立津軽中学校

6 最近の活動実績

2013/6/6 弘前市立津軽中学校

2年生対象の職業講話で、仕事内容の説明（どんな仕事か、必要な資格等）と、中学生活で大切にしてほしいこと及び働くことの意義についてお話をしました。

2013/9/25 五所川原市立五所川原第一中学校

1年生対象の職業講話で、仕事内容の説明（どんな仕事か、必要な資格等）と、中学生活で大切にしてほしいこと及び働くことの意義、やりがいについてお話をしました。

2014/9/10 青森市立浦町中学校

学生対象の職業講話で、仕事内容の説明（どんな仕事か、必要な資格等）と、中学生活で大切にしてほしいこと及び働くことの意義、やりがいについてお話をしました。

10 株式会社竜飛精工

1 我が社の活動方針・理念

金型製作という職種を知ってもらい、子どもたちの視野を広げ、将来の就職を考える場合に、一つの選択肢になればと思います。子どもたちにもものづくりの楽しさを味わってもらうことも目的としています。

また、職場体験受け入れが地域の活性化につながればと考えています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

担当者については、学校からの依頼内容に合わせて極力適任者を充てるように社内で調整を図っています。

社員の教育の一つとして行っています。（短大での出前授業も毎年継続して行っている。）

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

高校生や中学生は実施期間が短いため、モノづくりの楽しさを体験してもらえるようなメニューとするように心がけています。

生徒の取組の様子を踏まえて、体験で使用する材料や、制作内容を変えながら実施しています。

② 学校との連携での工夫

インターンシップの生徒には金属を加工して形にする作業をしてもらっているので、学校には金型づくり、ものづくりの職種を生徒にもっとアピールしていただきたいと打診しています。

また、工具メーカーのセミナー開催にあたり、場所の提供を職業短大に要請し、津軽地区でのセミナー開催を成功させるなどの提案、対応をしています。

③ 実施当日に気を付けていること

物づくりの楽しさ、難しさを知ってもらう為、より実戦に近い実習を行うようにしています。また、体験で生徒が作ったものは記念に持ち帰ってもらっています。

4 その他

弊社では取組の情報公開を行っていないが、五所川原工業高校のホームページで当社がインターンシップ受け入れていることを紹介して下さっています。“工業高校や職能短大からは毎年継続して受入の依頼が来ており、近隣の中学校からも見学や体験の依頼が来ています。（学校に職場体験等の受入していることが認知されていると判断している。）”

5 活動の様子、資料など



五所川原工業高等学校のインターンシップの様子

6 最近の活動実績

※小・中・高・特別支援学校の実績です。

H26.9.3～4 五所川原工業高等学校

もの作りの楽しさ、やりがい等を肌で感じてもらうため、実際の機会を用い作業し、物を得る体験をしてもらいました。

H25.9.4～5 青森県立五所川原工業高等学校

もの作りの楽しさ、やりがい等を肌で感じてもらうため、実際の機会を用い作業し、物を得る体験をしてもらいました。

H25.9.10～11 五所川原市立五所川原第三中学校

実際にサンドペーパーを使い、手作業で仕上げ処理をしてもらいました。

1 1 青森水族館管理株式会社（青森県営浅虫水族館）（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

浅虫水族館は昭和 58 年 7 月 23 日開館以来、「遊べる・学べる楽しめる施設」として生き物について楽しみながら学べる施設を目指し運営してきています。また「いのち博物館」としての水族館を目指し、「いのち」を感じ繋ぎ考える場であり続けることを意識した運営、活動に努めています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

福祉、社会教育、文化施設として、職員は来館者へのサービス向上に努めています。

職場体験、研修生等の受入れについては担当者を置き、各学校の実施目的に合った研修ができるよう実習予定表を作成して計画的に実施しています。

また、学習普及員や出前授業の担当者など置き、社会教育に勤めています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

中学・高校・専門学校・大学と受入対象学年が広いため、そのレベルに合った研修を行えるよう心がけています。

中学生の職場見学等は命の大切さ、生き物を育てるための責任感など道徳的な講話を主としています。

② 学校との連携での工夫

職場訪問、出前授業等は事前に学校 の担当者と打ち合わせしており、特に安全確保をした上で受け入れを実施していることをきちんと伝えるようにしています。また、事前に質問事項を提出してもらい、それに基づいて仕事内容等の説明を行うようにしています。

他の団体等の協力・連携に関しては、JAFと連携し親子対象のバックヤードツアーの実施をしている。

③ 実施当日には…

水族館のバックヤードは狭く危険な場所があるため、見学用通路の確保や解説版の設置などの整備をして受け入れています。

4 その他

学校や生徒からたくさんのお礼状などが送られてくるものは、職員が見ることができるよう

しています。

水族館ホームページでは教育活動については現在紹介していませんが、実績などを紹介し、アピールできる方法があれば今後考えていきたいと思っております。

「我が社は学校教育サポーター」に登録をしたことにより、学校からの依頼は年々増えてきており、当館の活動が広く知られてきていると感じています。

5 最近の活動実績（平成26年度）

- 7/1 青森市立造道中学校(1年) (職業体験学習)施設見学と仕事内容の説明、質疑応答
- 7/8 青森市立東中学校(1年) 職場見学
- 7/15 青森市立戸山中学校(2年) 職場体験学習
- 7/16 青森市立戸山中学校(2年) 職場体験学習
- 7/25 青森東高等学校(2年) 職場訪問
- 7/26 県立六ヶ所高校(職業インタビュー)施設見学、職業進路についての質問等
- 7/28 青森市立古川中学校(1年) 職場見学
- 7/29 七戸養護学校(高等部2年) 職業現場実習
- 9/2 青森市立造道中学校(2年) 職場体験学習
- 9/3 青森市立浪打中学校(1年) 職場体験学習
- 9/9 むつ市立大平小学校(5年) 出前授業「1人1教室」水族館飼育員の仕事について

※小・中・高・特別支援学校のみ

10月以降は、例年出前授業の依頼が多くなります。

12 特定非営利活動法人つがる夢庭志仙会

1 我が社の活動方針・理念

環境・美化の保全活動をNPO法人のスタッフと生徒と一緒にを行うことを通して、水資源・環境の大切さを生徒に伝えることを目的に行っています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

NPO 法人スタッフ全員で出前授業等体験活動に取り組んでいます。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

活動を行う際に、学校との話し合いを重ね、生徒たちとの交流発表等を活動の中に積極的に取り入れました。

また、行政、企業、柏地区の老人会や高校生、中学生等異年齢の多様な交流ができるプログラムとしています。

② 学校との連携での工夫

活動の実施にあたって、生徒への声掛けを先生方に依頼するとともに、活動には先生方も一緒になって参加していただいています。その際に、生徒たちとともに体験交流会やイベントなどの企画が自主的にできることを伝えてもらうようにし、生徒が積極的に参加してもらえよう工夫して取り組みました。

また、西北地域県民局、中南県民局、東青県民局および県環境政策課、農林水産部と連携して活動を行っています。

③ 実施当日には…

生徒たちの初めての体験に際し、はじめは法人スタッフが手ほどきし、あとは自主的に活動してもらえよう工夫しました。

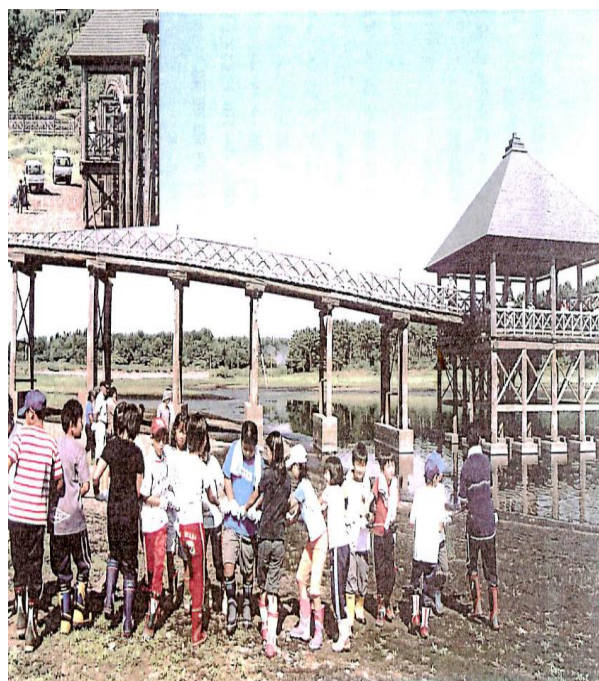
また、生徒たちのアイデアを極力生かすようにNPOのスタッフがサポートするようしています。

4 その他

子どもたちと一緒に取り組んだ成果をもとに活動マップを作製し、地域に配布しています。

学校を通して、全校生徒に周知していただくよう心がけています。体験学習会、体験活動はその都度新聞、テレビ等で取り上げてもらいました。

学校や保護者からの感想やお礼の声、新たな活動も期待されているところです。



5 活動の様子、資料など



景観づくり



エコリンキャラクター募集

6 最近の活動実績

H17年 つがる市豊川小学校

「田んぼの水はどこから来るの？」

春の小川体験学習会で、4年、5年生に水の大切さを話した。その後、4年間をかけて4回開催。

H18年～21年 県立五所川原農林高校、県立金木高校

「農村景観 自然環境保全再生パイロット事業」高校生土木科と普通科の協働で、景観作り活動に参加。土木事業の大切さを教えた。

H22年 県立五所川原農林高校

津軽鉄道、五農高前駅舎を高校生とともに改装工事をするによって、高校生に駅舎の環境美化活動を指導。

H23年～25年 県立五所川原農林高校・県立金木高校市浦分校・五所川原市立市浦中学校

五農高前駅に「かたりば」新築、津軽鉄道毘沙門駅舎新築、市浦霊山植樹祭。

地球温暖化防止、緑化推進活動に取り組む。(緑の募金事業)

H26年 県立金木高校市浦分校・県立中里高校・県立五所川原農林高校・つがる市立木造中学校

つがる市立柏中学校・つがる市立柏小学校・青森市立油川小学校

津軽鉄道中里駅中にて、エコリン学校開催。地球温暖化防止「植え、育てエネルギーサイクル・モクモク」を全国に発信。

緑化推進を図ることおよび地域活性化を、生徒たちとともに活動することで伝えることができた。

H26年 つがる市立柏小学校、つがる市立木造小学校、五所川原市立南小学校

鶴田町立鶴田小学校、西目屋村立西目屋小学校

西目屋村にて津軽ダムの見学及び西目屋村の小学校と交流会にて、水資源の大切さを勉強した。

13 八戸工業大学（八戸市）

1 我が社の活動方針・理念

現在、国においては「エネルギーの安定供給」が課題となっているほか、「二酸化炭素排出抑制」が世界的な問題となっています。このことを受け、次世代を担う子どもたちにエネルギーや環境問題に対して理解を深める機会を設け、エネルギー及び環境問題への意識を育む。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

独自に作成した実験レシピ集『エネルギーと環境の科学体験解説集』と保有している実験器具を用いて、八戸工業大学エネルギー環境教育協議会の学内メンバーの複数の教員が担当しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

前述の実験レシピ集を担当者に開示し、打ち合わせ及び前年度の生徒のアンケート結果等から実施に向け、内容を検討して実施しています。町の事業として実施しているため、内容の検討の際には町の担当者と綿密に打合せを行っています。

② 学校との連携での工夫

例年担当者と年度計画を立てる段階から準備を進めており、双方で対応可能な日程を設定しています。終了後は、生徒のアンケート結果を聴取しています。

また、上記授業のほかに、三沢航空科学館の指定管理者であるNPO法人テイクオフみさわと連携し、飛行ペンギンロボットの出前授業（アウトリーチ事業）を県内の学校を対象に実施している（活動の際には本学学生にもボランティアスタッフとして活動に協力してもらっている）。

③ 実施当日には…

例えば、水質検査では、各自で調べてみたい水を持参させる等、子どもたちに授業への興味・関心を高めさせる工夫をしています。

4 その他

前述の実験レシピ集の簡易版をホームページ

http://www.hi-tech.ac.jp/1401outline/experience_based_learning_for_sience
に公開しています。

9月23日(火)付けの東奥日報に今年度の活動が掲載されるなど、新聞報道を通して、地域の学校の先生方にも知られるようになり、出前授業の依頼・相談が他の学校からも来るようになっていきます。

5 活動の様子、資料など



6 最近の活動実績

H26/9/16 野辺地町内小学校(5小学校合同)

町内の小学5年生を対象にエネルギーと環境の科学に関する学習体験を平成21年度から継続的に実施しています。

14 青い森鉄道株式会社（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

お客様が、いつも普段通りに安心して青い森鉄道を利用していただくためには、多くの社員が様々な部署で働いていることを生徒、学生の皆様に理解していただくように努めています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

受入窓口を総務課担当者が担当し各部署への協力依頼を促し、学校の協力依頼に副うような体制を整えています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

毎回の職場体験受け入れの際の生徒の反応や感想を踏まえ、あまり関心のない生徒、学生の皆さんにも少しでも興味を持ってもらえるよう、体験プログラムの拡充を図っております。（自動起床装置体験・運転適性検査体験等）

② 学校との連携での工夫

受入の際、担当の先生が事前打ち合わせで来社された際には、可能な限り見学場所を下見していただくようにしています。

他の団体との連携については、県の青い森鉄道対策室と連携し、東青地域県民局協力の下、高校生を中心とする青い森鉄道活性化のためのワークショップを開催しました。

③ 実施当日には…

普段、学校で学んでいること、活動していることが大人になってから役立つことを職場体験で感じてもらえるように、意識しながら接しています。

4 その他

当社のホームページや社内回覧等にて礼状などを紹介しています。

当社は、「学校教育サポーター」として登録しているので、小学校、中学校等からのご依頼以外にも、幼稚園、保育園の園児の皆様から大学生まで施設の見学やインターンシップ等の受け入れを幅広く行っています。

※ 昨年度実績：幼稚園1・保育園2・小学校9校・中学校5校・高校4校 [664名]

5 活動の様子、資料など



6 最近の活動実績

2014/6/17 青森県立野辺地高校

運転士のしごと内容を現役運転士から説明を受けたり、野辺地駅での駅業務体験。

2014/7/2 青森市立三内中学校

2年生を対象に、安全を陰で支える人たちの業務内容を見学（指令室・設備管理所）

2014/7/8 青森市立東中学校

2年生を対象に3日間の日程で職場体験を実施。鉄道に携わる人たちがどれだけののか、各施設を見学。

2014/9/5 青森市立横内中学校

総合的な学習に対する講師（社員）の派遣依頼。勤労観・職業観について、1年生を対象にお話をする。

2014/9/26 青森市立篠田小学校

青森駅構内の施設見学を実施。冬期における除雪の仕方やお客様の安全に配慮した設備を紹介。

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業
平成26年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」募集要領

1 趣 旨

この要領は、「あおもりキャリア教育応援企業表彰」に関する応募手続き等について定めます。

2. 応募対象

青森県内の学校で行われている出前授業、職場見学、職場体験、インターンシップ等を支援している企業・事業所等を対象とします。

※対象となるか判断が困難な場合、「5（2）書類提出先（お問合わせ先）」まで御連絡ください。

3. 応募資格

（1）これまでに、県内の小・中・高等・特別支援学校等において出前授業の実施、職場見学・職場体験・インターンシップの受入れ等、学校における教育活動への支援に取り組んだ実績があること。

（2）活動内容の公表が可能であること。

4. 審査基準

学校におけるキャリア教育活動の推進のために、企業・事業所等による継続的かつ効果的な支援活動を評価する観点から、応募された企業・事業所等が行う教育CSRに関する取組について、以下の4項目により審査を行います。

※教育CSRとは 「青森県教育委員会 キャリア教育の指針（総論編）」より

CSRとは企業の社会的責任という意味があり、特に企業が社会を構成する一員として主に教育活動に参加することを「教育CSR」と呼んでいます。具体的には、学校の授業への講師派遣、工場や施設見学受入れ、職場体験・就業体験受入、作品募集型コンテストなどイベントの開催、授業用教材の開発、教員向けセミナーの実施など様々な形態があります。

（1）学校に対する教育支援活動が主体的かつ継続的に行われていること。

活動目的や方針、社内の組織・体制が定められているか、及び学校への支援活動を行う際の工夫がなされているか。

（2）活動内容が、学校におけるキャリア教育の推進に寄与するものであること。

学校との連携及び他の企業・事業所、団体、機関等との連携、協力に関する工夫、並びに出前授業や職場体験等実施の際に行っている工夫がなされているか。

（3）効果的な情報発信により、他の企業・事業所等にとって大いに参考になりうるものであること。

学校への支援活動についての情報発信の工夫や実績、及び自社の支援活動における工夫が何らかの形で公開されているか。

（4）活動が、学校、地域社会、及び自企業・事業所等内において広く認知されていること。

新聞、テレビ、雑誌、市町村の広報誌等での紹介実績、及び支援活動に対する認知など。

5 応募方法

所定の記入様式に必要事項を記入し、締切までに県教育委員会に御提出ください。

（1）提出書類

① 【記入様式】「あおもりキャリア教育応援企業表彰エントリーシート」1部

② その他活動内容や成果等が分かる添付資料

※添付資料は、A4縦判で作成してください。

(2) 書類提出先（お問合わせ先）及び提出方法

以下の宛先に、郵送、持参、あるいは電子メールによりご提出ください。

※郵送、持参の場合、応募書類の電子データについてもCD-R等の電子媒体を添えてください。

※電子メールの場合、お手数ですが必ず電話等で受信の確認をして下さい。

青森県 教育庁 生涯学習課 企画振興グループ（担当：道川）

〒030-8540

青森県青森市新町二丁目3番1号

電話番号：017-734-9888 Fax 番号：017-734-8272

E-mail：E-SHOGAI@pref.aomori.lg.jp

ウェブサイト：<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/career-edu.html>

（「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐ 青森県のキャリア教育 総合ポータルサイト）

※本募集要項及び応募申込書様式をダウンロード
できます。右のQRコードで、または「生きる
働く 学ぶ」で検索して下さい。



持参による受付時間 平日8:30～17:15

(3) 応募締切

平成26年10月24日（金）

※郵送の場合は締切当日消印有効

6 表彰の決定

平成26年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」への応募があった企業及び事業所並びに個人の活動実績について、青森県教育委員会が設置する青森県キャリア教育推進協議会において審査し、決定します。

7 表彰の方法

11月19日に青森市内で開催される「平成26年度あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会」において「あおもりキャリア教育応援企業表彰」の表彰式を行います。

受賞者には改めて御案内しますが、式への御出席をお願いします。

(1) 表彰式（予定）

①日時 平成26年11月19日（水） 10:10～10:40

②会場 青森県総合学校教育センター（青森市大字大矢沢字野田 80-2）

③内容 ・表彰状の授与
・一部表彰企業・事業所等の事例紹介

(2) 留意事項

表彰式出席に係る費用（旅費等）は、受賞者にて御負担をお願いします。

8 注意事項

- ・提出いただいた応募書類等は返却いたしませんので、あらかじめ御了承下さい。
- ・審査に関するお問い合わせには応じられません。
- ・応募いただいた企業・事業所名および個人名や活動内容を、県教育委員会ホームページ等で公表することがあります。また、報道機関等からの取材があった場合に御協力をお願いすることがあります。

9 個人情報の取り扱いについて

- ・応募者の個人情報は、青森県個人情報保護条例に基づき、審査及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。